

規制時における安全対策と第三者に対する配慮について

長野県土木施工管理技士会
吉川建設株式会社 土木部
監理技術者
坂 岩 英 明
Hideaki Sakaiwa

1. はじめに

本工事は、文化・経済・物流を支える重要な路線である長野県木曾郡の国道19号線の劣化した舗装を修繕する工事であった。

本線を片側交互通行とし、切削・オーバーレイの施工により即日復旧を日々行なっていくことが主たる工事内容である。

本工区の沿線には、コンビニエンスストア・工場・砕石プラントをはじめ一般車両が出入りする店舗が多数存在した。

工事概要

- (1) 工 事 名：平成21年度
木曾維持管内舗装修繕工事
- (2) 発 注 者：中部地方整備局飯田国道事務所
- (3) 工事場所：木曾維持出張所管内
- (4) 工 期：平成21年7月14日～
平成22年1月15日

2. 現場における問題点

木曾郡の国道19号は、別名『木曾高速』と呼ぶ人も多い。とりわけ大型トラックの交通量が非常に多く、スピードも尋常でない。したがって、工事施工前から規制時の交通事故や施工時期が行楽時期にあたり規制における渋滞などが最も懸念された。

当現場では、このような交通事情から片側交互

通行規制時における事故防止および、第三者への配慮を重点課題として取り組んだ。

3. 工夫・改善点と適用結果

- (1) 片側交互通行規制時における事故防止
 - ①規制において、最も重要なのは交通誘導員である。日々変化していく規制に対し、朝礼時に規制平面図を利用して各ポジションの役割の明確化を図り、適切な交通誘導を実施した（図-1、2）。



図-1 打合せ状況

- ②一般ドライバーに対して「この先で規制を行なっている」ということを少しでも遠くから認知してもらえるように、規制車に昇降式の大型電光掲示板を採用した（図-3）。
- ③通常の保安施設に加えコスモサークルの設置による注意喚起、およびドライバーに分かりやす

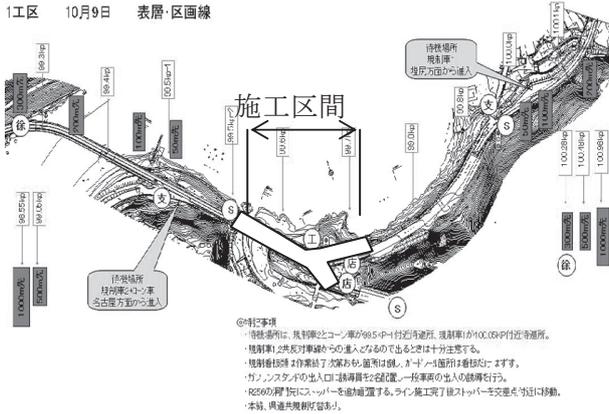


図-2 規制平面図



図-3 昇降式大型電光掲示板

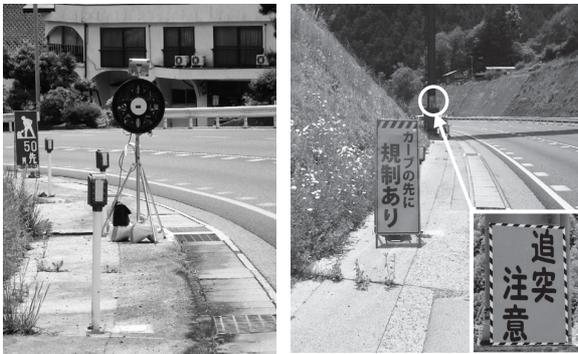


図-4 コスモサークル・看板設置

い看板を設置することで、規制による渋滞への追突事故防止を図った(図-4)。

(2) 第三者への安全配慮について

工事施工の影響を受ける各店舗へは、着手前にチラシを配り、施工中においてもコミュニケーションを適切にとり、工事への理解が得られるように努力した。また、出入口には誘導員を配置するだけでなく、店舗への車両の出入りがスムーズに行えるように、カラーコーン用の標識を設置する

とともに、通行車両に対しては待合時や渋滞時に出入口では車間を開けてもらうよう依頼も実施した(図-5)。



図-5 誘導員、標識設置

さらに、路面切削完了時から舗設完了までの間、既設舗装との段差が一時的に9 cm 生じてしまうため、段差解消ステップを設置して車両の出入りの際の衝撃低減を図った(図-6)。



図-6 段差解消ステップ設置

以上により、全施工期間を通じ規制における事故や周辺店舗および第三者からの苦情もなく無事完了することができた。

4. おわりに

今回の工事を終え、現道規制工事の難しさを感じるとともに、事前の現場踏査の必要性・重要性を再認識した。また、店舗等の意見をもとにした規制平面図の作成、自分が一般ドライバーの立場になった保安施設の設置など、今後への課題であり検討事項として社内展開も図っていきたい。